長野市立博物館　令和８年度事業

Ⅰ 資料収集・整理

○博物館の資料拡充方針に沿った資料の収集と整理を行う。
- ・目録の作成
- ・収蔵資料データベースへの資料追加と情報整備

○収蔵資料の再調査と整理
- ・付属施設の資料整理（今年度は信級）

Ⅱ 調査研究

○善光寺を中心とした市内仏教美術及び古文書の調査
○市内 32 地区毎の寺院仏堂を中心とした文化財の悉皆調査（更北地区）
○長野市内の植物の分布や生態、植物研究史についての研究
○長野市周辺のため池調査
○赤城泰舒寄贈資料調査研究
○長野市内等の横井弘三作品調査研究

Ⅲ 展示事業

=======本館=======

１．特別展（第 69 回）

「長野にセイウチがいた！ −オントケトゥスからたどる鰭脚類の進化−」

１）会　期　7 月 18 日（土）～9 月 23 日（水）

２）趣　旨　かつての長野やその周辺には海が広がっており、長野市からはアシカの仲間の歯の化石や「オントケトゥス」と呼ばれる絶滅したセイウチの仲間の頭蓋化石が 2 点発見されている。本展では、長野市で発見されたこのオントケトゥスの化石を中心に、鰭脚類の進化の過程や多様な生態を、剥製や骨格標本などとともに紹介する。

２．企画展、収蔵資料展

①　春の企画展「はかるとわかる」

１）会　期　3 月 20 日（金祝）～６月 28 日（日）

２）趣　旨　暮らしの中でも、最先端の科学でも、ものを測るのは重要である。長さ、重さ、時間などを様々な方法で測っている。日本は、今からおよそ 140 年前の 1885 年にメートル条約に加盟し、メートル法が使われるようになった。本展では、はかる道具を展示し、ものの測定や単位と、私たちのくらしとの関わりについて紹介した。

②　秋の企画展「信濃の武士と「一所懸命之地」−寄進・奉納とのかかわりから−」

１）会　期　10 月 10 日（土）～12 月 6 日（日）

２）趣　旨　中世の武士は上位の権力によって所領（土地）を与えられ、それを生活の頼みとしていた。このような武士によって経営されていた土地を「一所懸命之地」と呼ぶ。武士は家の安泰や一族の繁栄を願って、宝物や土地を寺社へ寄進、奉納し、寺社と密接な関係を築いていったが、寄進や奉納は信仰に基づく行為であると同時に、土地経営などと深くかかわっていた。本展では、信濃の武士と「一所懸命之地」に着目し、寄進・奉納とのかかわりから、武士による土地経営の実態に迫る。

③　御開帳記念プレ展示「馬にひかれて善光寺参り−博物館収蔵品の馬」

1）会　期　令和９年２月５日（土）～４月 11 日（日）

2）趣　旨　４月から行われる善光寺の御開帳にあわせ、当館では「Variety - 善光寺式三尊像の多様性−」と題した特別展の実施を予定している。そのプレ企画として、博物館収蔵品の中から馬をトピックに紹介する。

３．常設展示特別公開

重文銅造観音菩薩立像展示

1）会　期　９月８日（火）～11 月３日（火）

2）会　場　常設展示室２階「慈悲のまなざし」コーナー

=======戸隠地質化石博物館=======

企画展

①　春の企画展「田んぼとため池の生きもの　前期」

1）会　期　3 月 20 日（金）～６月 28 日（日）

2）趣　旨　田んぼやため池には多くの種類の動植物が生息し、独特な生態系を形成してきた。一方で近年は、耕作地や耕作方法の大きな変化によって絶滅が危惧される生き物も少なくない。今回はそれらの生き物たちの生態やヒトとのつながりを紹介する。

②　夏の企画展「田んぼとため池の生きもの　後期」

1）会　期　７月 11 日（土）～８月 30 日（日）

2）趣　旨　春の企画展の一部を入れ替え、飼育展示を増やし、夏休み中に来館する子どもたちを対象に、楽しめる内容にしていく。

③　秋の企画展「河原の石ころ～長野盆地の地下にある石ころ～」

1）会　期　９月 12 日（土）～11 月 29 日（日）

2）趣　旨　石ころはとても身近なものだが個性があり、色も形も手触りも様々で大地の生い立ちが刻まれている。今回は県内各地の河原の石ころの他、信州大学教育学部で作成した石ころ標本や南宮遺跡の剥ぎ取り資料を展示し、大地の生い立ちを読みとく。

=======鬼無里ふるさと資料館=======

ロビー展示

「鬼無里中学校展～閉校記念 80 年の歩み～」

1）会　期　令和８年４月 26 日（日）～11 月 29 日（日）

2）趣　旨　令和８年度で閉校となる鬼無里中学校の歩みを、懐かしい写真で振り返る。

=======信州新町美術館=======

１．特別展

①　第 42 回信州書道秀作展

1）会　期　7 月 30 日（木）～９月 23 日（水）

2）会　場　信州新町美術館　第１展示室

3）趣　旨　県内で活躍する現代書家約 80 名による書道展。当館開館時より開催されている伝統の展覧会。県内の書道愛好家を対象とし企画するもの。

②　市立長野高校美術部の軌跡展Ⅲ

1）会　期　10 月 17 日（土）～令和９年１月 31 日（日）

2）会　場　信州新町美術館　第２・３展示室

3）趣　旨　当館ではこれまで、高等学校における美術教育活動の発表を目的に、長野市立高等学校美術部生徒の作品展「市立長野高校美術部の軌跡」を開催し好評を得てきた。本展は第三回目であり、近年の作品を中心に展示する。

4）関連事業　美術部によるギャラリートークなど

２．所蔵作品展・常設展（当館ゆかりの作家たち展）

所蔵作品より主要作家を中心にした油彩、水彩、版画などを展示。（年二回展示替え）

=======信州新町化石博物館=======

企画展

① 春の企画展「信州新町周辺のクジラ化石」

1）会　期　６月上旬～７月５日（日）

2）趣　旨　信州新町周辺から採取されたクジラ化石を展示する。

② 企画展「100 年ぶりの里帰り！ヒラバヤシジカと日本のシカたち」

1）会　期　７月 18 日（土）～９月 23 日（水）

2）趣　旨　ヒラバヤシジカが発見・報告されてから 100 周年を記念する里帰り展示として企画したもので、長野市立博物館第 68 回特別展と同時開催とする。

③ 企画展「サメたちとフォッサマグナの海」

1）会　期　10 月 10 日（土）～令和９年３月７日（日）

2）趣　旨　長野県内から産出したサメ化石やサメと共産する化石を展示し、フォッサマグナの海の変遷について紹介する。

Ⅳ　教育普及事業

=======本館=======

１．プラネタリウム

① 通常投影

○キッズスペシャル（幼児向け投影、オート）

時間　午前 10 時～午前 10 時 40 分

○季節の星空と映像番組（一般向け投影、オート）

時間　午前 11 時～午前 11 時 40 分、午後１時～午後１時 40 分

○リラックスプラネタリウム（一般向け投影、オート）

時間　午後３時～午後３時 40 分

映像番組スケジュール

期　間	項　目
４・５・６ 月	季節の星座 ＋「冥王星の仲間たち」（リバイバル）
７・８・９ 月	季節の星座 ＋「海竜王モササウルス」（配給番組）
10・11・12 月	季節の星座 ＋「流れ星を見に行こう」（リバイバル）
１・２・３ 月	季節の星座 ＋「個性豊かな惑星たち（仮）」（新作）

② 特別投影

○夏休み特別投影と春休み特別投影の際は、平日も投影する

項　目	時　　期
夏休み特別投影	７月 28 日(火)～８月 23 日(日)
春休み特別投影	３月 24 日(水)～４月２日(金)

③ 夜のプラネタリウムと星空観察

1）内　容　　プラネタリウムの投影と 40cm 反射望遠鏡での観察を行う。
2）日　時　　毎月第４土曜日の夜（季節によって時間変更、状況によって日付も変更）
3）料　金　　プラネタリウム料金

２．手仕事のじかん

1）内　容　大人を対象とした体験講座。展示やプラネタリウムと連携した内容とし、新たな来館者層を発掘する。
2）日　時　月１回程度（日曜か平日の午後１時～３時）
3）料　金　100～1000 円程度（材料費として）
4）定　員　５～10 名
5）メニュー　２～３ヶ月毎にスケジュールを組んで事前に周知する。

メニュー	内　容
草木染	市内で採取した季節の草花を使って染物を行う
まが玉づくり	寿山石や滑石などでまが玉をつくる
ワラ細工	なべしきなどのワラ細工をつくる
苔テラリウム	採取した苔と石でテラリウムをつくる
こぎんの針刺し	こぎん刺しで針刺しをつくる

３．子ども体験のひろばの運営（土曜日）

1）内　容　　毎週土曜日の子どもウェルカムデー（小中学生入館無料）に合わせて、主に未就学児～小学生を対象とした体験講座を実施。
2）日　時　　毎週土曜日、午前 10～12 時。
3）メニュー　月ごとにメニューのスケジュールを組んで事前に周知する。各メニューはパートナー及び友の会、外部団体、職員などが企画運営。

主なメニュー	内容	日程	担当グループ
木工工作	木や竹等を使った簡単な工作。	毎月第 2 土曜日	ながはくパートナー・木工グループ
たわらあみでつくるかべかざり	小学校団体見学時に実施しているたわら編みの方法でかべかざりを作る体験。	毎月第 3 土曜日	ながはくパートナー・昔たいけんグループ
さきおり体験	さきおりした布でコースターやポシェットを作る。	第 4 土曜日を中心に不定期開催	博物館友の会・さきおり同好会

４．ながはく総合講座

1）内　容　展示や研究などの博物館活動や収蔵資料などについて多くの市民に広く関心を持ってもらうため、講座を行う。
2）日　時　月１回程度（午後 2 時～3 時半）

日　時	タイトル	講　師
4 月 12 日(日)	宇宙をはかる	陶山　徹(文化財課・天文)
5 月 24 日(日)	くらしの中のはかる	三浦　史(当館・民俗)
6 月 13 日(土)	不動寺の大般若経 600 巻と幕府御用絵師 －更北地区調査報告－	竹下多美(当館・仏教美術)
7 月 18 日(土)	長野の山から見つかる貝のおはなし	成田　健(当館・自然)
8 月 8 日(土)	長野の鰭脚類とオントケトゥス	甲能直樹(国立科学博物館)
9 月 13 日(日)	新出の観心十界曼荼羅図(不動寺蔵)を読み解く －更北地区調査報告－	細井雄次郎(当館・民俗)

10 月 24 日(土)	新購入資料「松代祭礼各町屋台図」 －松代御柱祭の祭礼行列－	樋口明里(当館・民俗)
11 月 22 日(日)	中近世移行期における信濃の土地制度	石田将大(当館・歴史)
2 月 20 日(土)	氷河時代の長野県と山岳氷河について	畠山幸司(当館・自然)

５．博物館まつり（友の会・ながはくパートナー共催）

１）内　容　博物館に親しんでもらうため、友の会、パートナーと協力し、様々なイベントを実施する。

２）日　程　９月 23 日（水）入館無料日

６．博物館ボランティア「ながはくパートナー」との協働事業

① 団体見学対応（昔たいけんグループ、木工グループ）

１）小学校第３・４学年団体対応　　昔たいけんグループ
社会見学で来館する小学校団体向けに、教科書に沿ったガイドと体験を実施する。

２）PTA・育成会団体対応　　木工グループ
市内の PTA・育成会団体向けに、木工工作体験を実施する。

② 文化財保存活動（文化財保存グループ）

１）内　容　令和元年東日本台風による被災文化財の保全活動を行う。

２）日　時　毎週金・土の 10 時～16 時

=======戸隠地質化石博物館=======

１．自然観察教室　（年間９回）　例年通り開催

１）対　象　小学生以上

２）定　員　20 人

３）参加費　200 円（内容によって、別途入館料および材料費があるものもある）

２．子ども博物館教室　　例年通り開催

１）内　容　博物館にある資料等を活用して主に子どもを対象にした各種教室を開催

２）対　象　小学生以上

３）参加費　200 円～500 円および入館料

内　容	内　容	内　容
カブトムシの会	堆肥から幼虫を探し飼育する。羽化後は里山に返す。	４月
化石をさがそう –化石クリーニング体験–	石を割って、中から化石をさがしてもらう	５月～11 月の間で 11 回ほど実施
博物館わくわく入門	バックヤード見学や企画展の体験教室	４月～３月の間で９回ほど実施

３．植物観察会　（年８回）例年通り開催予定

１）対　象　小学生以上　現地集合・現地解散

２）定　員　各 20 人

３）参加費　200 円

４．ミニワークショップ「水晶ひろい」

１）内　容　砂の中から水晶の粒をさがしてもらう。

２）参加費　100 円　　開館時間中随時実施

５．戸隠博物館夏まつり

１）内　容　各種ワークショップの実施

２）日　程　７月 25 日（土）

６．ボランティア団体との協働

・ボランティア団体（とがくしぼうけん団）と協力して資料収集や展示活動を行う

・戸隠博物館夏まつり（７月 25 日（土））へ協力いただく

=======信州新町化石博物館=======

１．化石ワークショップ

１）内　容　主に子どもを対象にした各種ワークショップ教室を行うもの

２）日　時　毎月第２・第３土曜日（５月・８月を除く）　午後１時 30 分～午後３時 30 分

３）定　員　15 名（事前予約制）

４）参加費　材料費（入館料別途）

２．教員向け地層観察講習会

１）内　容　小学校６年生の理科の単元「大地のつくりと変化」の学習に役立つように、犀川の河原で地層観察の要点や安全対策等についてワークシートを使いながら解説する。また、化石博物館の展示資料を活用した化石の学習についても紹介する。

２）期　日　７月 31 日（金）

３）定　員　10 人（事前申込・多数の場合は午前・午後に分けて２回実施）

４）参加費　無料

３．ワークショップ「化石のマグネット作り」

１）内　容　磁石がついたレプリカを用意しておき、これに着色して持ち帰ってもらう。

２）期　日　ゴールデンウィークや夏休み期間等に実施（事前予約制）

３）料　金　１個 200 円

４）会　場　信州新町化石博物館教室ほか

４．他団体との共催事業

項　目	日　程	参加費	対　象	定　員	備　考
信州新町フェア（新町） ※出前ワークショップ	10 月末～11 月初旬の２日間	未定	親子	なし	信州新町フェア実行委員会主催
地域間交流事業への協力（化石レプリカ作り）	夏休み期間	300 円	親子	なし	信州新町地区住民自治協議会主催
恐竜イベント	未定	－	親子	なし	信州新町地区新たな魅力創出イベント実行委員会

=======鬼無里ふるさと資料館=======

１．祭り屋台を知ろう！展示ガイド

１）日　時　随時

２）趣　旨　北村喜代松とその門下が手掛けた見事な彫刻など鬼無里の祭り屋台の魅力を紹介する。

Ⅴ　定期刊行物事業

１．長野市立博物館紀要（令和９年３月刊行予定）

２．博物館だより（６月、９月、12 月、３月発行予定）
３．収蔵資料目録・調査報告書

Ⅵ　博物館実習等受け入れ事業

１．大学学芸員養成課程に伴う博物館実習の実施
　時期：８月 25 日（火）～30 日（日）（本館）、随時（戸隠、信州新町）、定員：若干名
２．中学生の職業体験受け入れ
　希望があれば随時
３．高校生・大学生のインターンシップ就業体験の受け入れ
　希望があれば随時

Ⅶ　備品購入

項　目	内　　容
資料購入	川中島の戦い関係資料

Ⅷ　常設展示室等整備管理事業

項　目	内　　容
本館展示室・収蔵庫燻蒸	７月６日（月）～７月９日（木）燻蒸・駆虫処理業務委託 常設展示室、民俗資料収蔵庫など

Ⅸ　博物館協議会

項　目	内　　容
博物館協議会の開催	博物館事業等について審議　年２回開催 委員任期（令和７年４月１日～令和９年３月 31 日）